

令和5年(2023年)10月5日

西宮市議会議長 山田 ますと 様

## 民生常任委員会 管内視察報告書

■視察日時 令和5年(2023年)8月10日(木)  
午前9時15分から午後0時10分まで

■視察委員 委員長 一色 風子  
副委員長 牧 みゆき  
委員 ありめ こうへい  
〃 河崎 はじめ  
〃 佐野 ひろみ  
〃 浜口 ひとし  
〃 松山 かつのり  
〃 八木 米太郎

■視察先 ①北部図書館 西宮市名塩新町1番地  
②中央図書館 西宮市川添町15-26

■視察事項 市内図書館について

■視察先対応者 参与兼読書振興課担当課長

上 田 幹  
読書振興課長 玉 田 淳  
読書振興課担当課長 中 尾 麻 美

### ■視察概要

市内にある図書館の現状把握を目的に主要な図書館である南部と北部それぞれ1か所ずつを視察した。

今年度本委員会の施策研究テーマになっている「図書館について」を研究、協議、他市との比較検討をするにあたり、まずは本市の施設や状況を知るため市内2か所の図書館を視察した。最初に向かった北部図書館は西宮名塩駅近くにあり複合施設として塩瀬センター内の児童館、保健センター、支所と同じ施設内にある図書館である。(施設面積631.30㎡内開架室は463.30㎡排架能力51,000冊、ワークルーム100.00㎡)どのような機能を果たし、連携などはどのようにしているのかなど確認した。

次に向かった中央図書館は夙川沿いの静かな住宅街の中に位置づけられており最寄り駅の香櫨園からも歩いて8分の場所である。市内の図書館の拠点ということで大規模な書庫が地下にあり施設内には他に教育文化センターとして郷土資料館、市民ギャラリーが併設されている複合施設となっている。(施設面積4,682.29㎡内開架室は1,290.94㎡排架能力67,000冊、ワークルーム137.23㎡、書庫594.75㎡、2層書架300,000冊収納可)中央図書館としての機能や書庫の状況など確認した。

## ■意見・感想

各委員からは以下のような感想があった。

- ・子育て応援の棚が西宮市の事業案内に繋がっており良かった
- ・絵本コーナーが見やすく配置されていた
- ・視聴覚コーナーを知らなかった
- ・アクセスしやすいコミュニティにはなくてはならないもの
- ・普段本は購入するので配架されている本の中には見慣れないものがあった、他の図書館にも行ってみたいと思う
- ・北部利用者が少ないように感じた
- ・高齢になった際には本は所有せず図書館を利用したいと思う
- ・書庫に圧倒された
- ・各図書館でそれぞれイメージが違うように感じる(中央図書館は静か、北口図書館はにぎわっている。など)
- ・中央図書館のあるべき姿、機能を市民としっかりマッチングさせてほしい
- ・市内の図書館はよく知っているが他市の図書館とも比較していきたいと思った
- ・清潔感がある
- ・リラックスできるスペースをつくり滞在したくなる雰囲気を作ったらどうか?
- ・行政サービスとしてどこまでやるのか?市立貸し本屋とするのか?
- ・書庫には貴重な本を置いてほしい
- ・図書館の役割として市民の文化的意識の向上に努めてほしい
- ・情報へのアクセスが良く市が何をやっているのかを把握しやすい
- ・子どもたちの居場所として機能している
- ・書庫が宝の山
- ・除籍本の考え方や今後のICTの導入との関連や児童書の資料収集に関しての考えが気になる
- ・複合施設として他の機関と連携をさらに進めてほしい
- ・不登校などの子どもたちのボランティアの取り組みや10代が行きたくなる図書館のあり方などさらに取り組みを他の図書館に波及してほしい

## ■まとめ

施策研究にあたって、まずは市内図書館を知るところからスタートした。市内には分館を

含めて 11 か所の図書館があるがそのどれもが市民にとってはなくてはならないものになっている。新中央図書館の整備に向けては、その整備だけでなく西宮市全体の図書館にも目を配りながら新中央図書館の役割とまたそれ以外の図書館についても考える必要がある。今後他市の事例も参考にしながら、また現在市内で取り組みを進めている図書館の役割など私たち委員もしっかりと認識したうえで研究を進めていきたい。

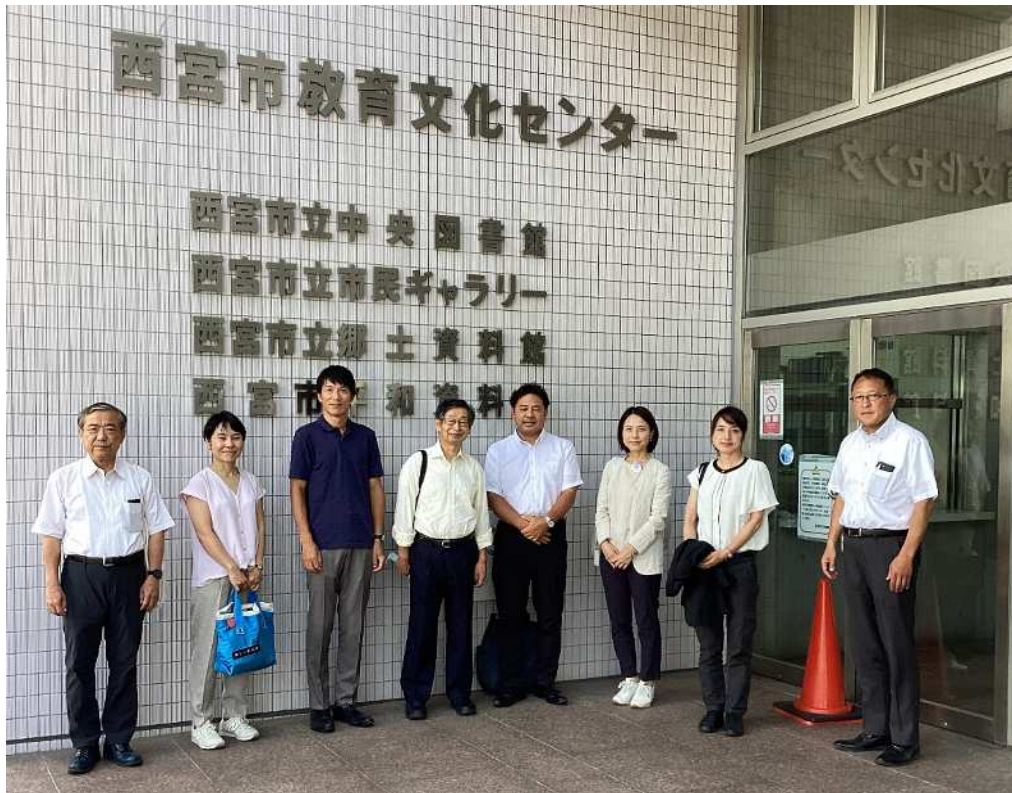
短時間ではあったが市内の図書館を委員全員で視察し、それぞれの視点で見ることができたのは有意義であった。

## ■視察風景

(北部図書館)



(中央図書館)



以上